

情報基礎演習〔工学部〕（物理工学科）(2)

【履修要件】

コンピュータに関する予備知識は必要ない。演習を主体とした講義形式で、受講生の習熟度に合せて学習速度を柔軟に調整できるように配慮している。

後期配当の講義科目「情報基礎〔工学部〕（物理工学科）」および2回生配当の講義科目「計算機数学」と併せて履修することを勧める。また、2回生配当の講義科目「計算機数学」の履修は本科目の内容の理解を前提とする。

【成績評価の方法・観点】

「授業計画と内容」に示した7項目ごとに課題が設定され、その課題の提出状況や内容によって成績を評価する。

【教科書】

「情報基礎演習 2024」（京都大学・工学部・物理工学科）および「情報基礎演習〔工学部〕プログラミング」をWebにて公開。

詳細は講義中に連絡する。

【授業外学修（予習・復習）等】

授業前にテキストを読んで演習内容を確認しておくこと。

【その他（オフィスアワー等）】

物理工学科で開講する情報基礎演習では学生本人が所有するノートパソコンを持参するBYOD（Bring Your Own Device）形式での演習を予定している。従って、物理工学科の情報基礎演習を履修する学生は、必ず自分のノートパソコンを授業に持参すること（初回の授業からノートパソコンを使用した演習を行う）。なお、授業中にノートパソコンの充電が切れないように十分に充電しておくこと。念のため充電器を持参しても良いが、同時に充電できる台数には限りがある。

持参するノートパソコンについて：ノートパソコンは高性能である必要はないが、無線LANは必須である。OSはWindows、Macのいずれも可だが、iPad等のタブレット端末は認めない。ノートパソコンの推奨仕様などについては新入生向け冊子「入学案内」を参照すること。なお、持参するノートパソコンには、ウイルス対策ソフトウェアを必ず導入しておくこと。

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。